

平成31年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定4

千葉県立船橋高等学校 定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

高校生活全般について積極的に取り組む気持ちがあり、次のア又はイのいずれかに該当する者
ア 定時制の課程を志願する理由が明らかであり、働きながら学ぶことに強い意欲があること。
イ 基礎から学ぶ気持ちがあり、自らの力を伸ばす意欲があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名による個人面接 検査時間：約11分
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1が10以上または未評定の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び特 記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、判定する際の参考とし、記載内容により、審議の対象とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、判定する際の参考とし、学校生活や集団行動において、問題となるような記載がある場合は、審議の対象とする。

(3) 面接〔270点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。

aを30点、bを10点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各90点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 態度	基本的な面接作法等が身に付いている。
イ 身だしなみ	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。
ウ 志望の動機・意欲	定時制の課程を志願する理由が明らかであり、働きながら学ぶことに強い意欲がある、または基礎から学ぶ気持ちがあり、自らの力を伸ばす意欲がある。 これまでの学校生活について振り返り、定時制高校での生活に生かそうとしている。 欠席の多い者については、その克服への意欲を持っている。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点	第2日の検査の得点	総得点
	評価（算式1）	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	270点	$(905 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

5 その他

特になし